

## はじめに

本研究室では1999年度以降、対象とする都道府県を変えながら巡検・調査を行い、報告書にまとめてきました。本年度は、昨年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大防止への対応に伴い、実習地域の選定や調査の実施に大きな制約がありましたが、ここにその23冊目として「鳥取県巡検報告書」を完成することができました。

本研究室では、2年生は「地理学実習Ⅰ」、3年生は「地理学実習Ⅱ」をそれぞれ履修することになっています。実習では、まず『日本の地誌9 中国・四国』（森川・篠原・奥野編 2005 朝倉書店）のうち鳥取県を分担講読し地域の基本的性格を理解しました。これを踏まえて、統計データの入手と分析、関連する文献等の調査を通して、学生自らが研究テーマ・研究対象地域を確定しました。その後、聞き取り調査の依頼、調査対象機関への資料請求などを行いました。現地調査は、2021年8月30日（月）から9月2日（木）まで3泊4日で実施しました。その後は、必要な追加調査を実施しつつ、成果をまとめていきました。今年度の研究テーマは、鳥取県の各地域における歴史、産業、観光など多岐にわたりました。

「地理学実習Ⅰ」、「地理学実習Ⅱ」は、現地調査を通じて地域の諸問題を考える地理学において必須の授業として位置づけられます。テーマ設定・文献調査・統計分析・現地調査・図表作成・報告書執筆までの過程を学生が自ら進めなければならず、試行錯誤の連続であったと思われます。報告書は全体として調査不足であり、分析・考察という点でも不十分な点も多いと思われませんが、皆さまからの御批評を頂ければ幸いです。

現地調査にあたって聞き取り調査にご協力頂いた、自治体・事業所・団体など関係者の皆さまには大変お世話になりました。未筆ながら、記して御礼申し上げます。

2022年3月

島根大学法文学部  
社会文化学科地理学研究室  
船 杉 力 修  
菊 池 慶 之